



総合住民健診



喜茂別町総合計画 本編



比羅夫神社の石段改修



副読本 みんなのきもべつ



図書室



図書まつり



建設中の京極町給食センター

## 健康づくり推進事業

年齢や対象者に合わせた健康診断や、従来の予防接種助成を拡充。今年から子宮がん及び乳がんのほか、大腸がんの無料健診クーポン券を節目年齢の方に配布し受信者増加に努め、持病の早期発見や生活習慣病などの早期防止に努めました。

### 【予防接種助成】

- ・インフルエンザワクチン(子ども273人、妊婦2人、その他406人)
- ・子宮頸がんワクチン接種 28人
- ・ヒブワクチン 26人

### 【健診受診状況】

- ・大腸がん検診 320人
- ・子宮がん検診 61人
- ・乳がん検診 58人

## 協働による持続可能なまちへ

### 第5次総合計画策定

平成24年度から平成31年度までの8年間を計画期間とする「第5次喜茂別町総合計画」の策定し、計画書本編及び概要版を作成しました。

### 水の郷きもべつまちづくり振興事業

地域資源の活用によるまちづくりを目的に、住民団体自らが提案するまちづくり事業に対して支援を行うため「水の郷きもべつまちづくり振興基金」を設立し、交付申請のあった4団体に対し補助金を交付しました。

### 集落支援活動

平成22年度から2ヶ年にわたり、集落への支援対策・若年の移住対促進対策として集落支援員及び、地域おこし協力隊を導入。集落5地区に各2名の隊員を配置し、地域行事等コミュニティー活動支援業務、高齢者等生活支援活動などの業務を行い、8名の隊員が本町に定住しました。

## 次代を生きる力を育むまちへ

### 外国語教育

小中学校における外国語活動として外国語指導助手(ALT)を配置しました。

- ・喜茂別小77時間
- ・鈴川小28時間
- ・喜茂別中27時間

### 社会科副読本作成事業

小学校社会科副読本を作成しました。

### 読書図書室開館事業

喜茂別町子どもの読書活動推進計画に基づき、図書室の整備及び図書の本数を増やし、子どもたちの学ぶ意欲を高め、考える力を養うため、図書に親しむ環境づくりを推進しました。

### 給食センターの建設

京極町が主体となって設置する学校給食センターの実施設計委託業務の負担を行いました。



ホワイトアスパラの遮光シート



馬鈴薯の花



アライグマ捕獲用檻



農作物の被害



交流の森 植樹



デイサービスバス



喜茂別厚生クリニック

## 有害鳥獣対策

エゾシカやアライグマなどの有害鳥獣被害の対策として、駆除や電気柵の設置に対する支援を行いました。

## 地力維持増進事業

食の安全志向に応える農産物の生産のため、堆肥の購入助成を行い健康な土づくりを進めました。さらに加工原料の確保と輪作体系の確立を図るためのスイートコーン種子に対する助成を行いました。

・粉碎パーク	24件	4,571㎡
・JAパーク堆肥	13件	636㎡
・緑肥種子	48件	9,560kg
・スイートコーン作付	54件	87.95ha

## 新規作物導入チャレンジ事業

新規作物へのチャレンジに対しての助成や平成23年度はビニールハウスによる試験栽培の実施に対して助成しました。

・新規作物ハウス栽培先進地視察	2件	422,000円
・新規作物導入試験栽培用ハウス	3件	1,575,000円

## 森林整備事業

平成21年度に寄贈を受けた「交流の森」の環境整備や林業再生による間伐、作業道の新設を実施しました。

## 林道開設事業

鈴川福里線の開設工事や排水不良となっていた御園線の改良工事を実施しました。

## 支え合いの心が元気と安心につながるまちへ

## 障害者自立支援事業

障害者自立支援法の規定に基づき、障害者の自立を支援するための給付。(障害福祉サービス費、自立支援医療、補装具費)、地域生活支援事業(日常生活用具給付)等を実施しました。

## 介護保険事業

通所介護サービス(デイサービス)、訪問介護サービス(ホームヘルプサービス)居宅介護支援サービス(ケアマネージメント)など高齢者が自立した生活を支援するため、総合相談業務を行い、内容に応じた介護サービスなど関係機関との調整を行うとともに、在宅福祉サービスの充実に努めました。

## 介護を予防する事業

高齢者の自立した生活を支援するための事業を実施しました。

・生きがいデイサービス事業	33人
・配食サービス事業	585人
・お風呂利用サービス事業	5,298人
・除雪サービス事業	381世帯 出動日数のべ59日
・外出支援サービス事業	参加人数のべ242人

## 地域医療の確保のための助成

喜茂別厚生クリニック及び倶知安厚生病院産婦人科医師確保や救急当番病院の運営費について、JA北海道厚生連に補助を行い、地域医療及び救急医療の確保を図りました。